

第3節 保険会社の再編

I 概要

金融システム改革の進展に伴い、保険業界における競争環境が大きく変化する中、利用者利便の向上や経営基盤の安定化等を図るため、ここ数年、多くの生・損保会社において業務提携・統合・合併等の構想が発表され、平成13年4月の5組の合併を先陣に、生損保融合も念頭においた保険業界の再編の動きが現出してきている。

なお、14年5月末現在における会社数は、生命保険会社38社、外国生命保険会社等4社、損害保険会社31社、外国損害保険会社等26社、保険持株会社3社である。

※ 14年5月末現在の生命保険会社一覧は資料11-3-1、損害保険会社一覧は資料11-3-2参照

II 主要会社の合併等

1. 13年7月以降、以下の合併等が行われた。

ア 損害保険会社の合併

合併保険会社名	新保険会社名	合併日
<u>三井海上火災保険(株)</u> 住友海上火災保険(株)	三井住友海上火災保険(株)	平成13年10月1日
<u>日本興亜損害保険(株)</u> 太陽火災海上保険(株)	日本興亜損害保険(株)	平成14年4月1日
<u>安田火災海上保険(株)</u> 第一ライフ損害保険(株)	安田火災海上保険(株)	平成14年4月1日

(注) 下線のある会社が存続会社

イ 生命保険会社の合併

合併保険会社名	新保険会社名	合併日
<u>三井みらい生命保険(株)</u> <u>住友海上ゆうゆう生命保険(株)</u>	三井住友海上きらめき 生命保険(株)	平成13年10月1日
<u>あざみ生命保険(株)</u> 大和生命保険(相)	大和生命保険(株)	平成14年4月1日

(注) 下線のある会社が存続会社

ウ 保険持株会社設立による統合

保険会社名	保険持株会社名	設 立 日
東京海上火災保険(株) 日動火災海上保険(株)	(株)ミレアホールディングス	平成14年4月2日

2. 上記のほか、以下のような合併等が発表されている。

ア 安田火災海上保険(株)、日産火災海上保険(株)

～ 14年7月1日を期日として合併することを発表。14年2月8日に合併契約書(新会社名: (株)損害保険ジャパン)を締結。

イ 東京海上火災保険(株)、日動火災海上保険(株)、共栄火災海上保険(相)、朝日生命保険(相)

～ 生損保両事業を融合した保険グループ「ミレア保険グループ」の結成。共栄火災海上保険(相)は15年4月に、朝日生命保険(相)は16年を目処に、それぞれ株式会社化したうえで、(株)ミレアホールディングスの傘下に合流する予定。

ウ 大同生命保険(株)、太陽生命保険(相)

～ 大同生命保険(相)は14年4月1日に株式会社化。太陽生命保険(相)は15年4月を目処に株式会社化の予定。その後、共同持株会社を設立し、経営統合する予定。

エ 明治生命保険(相)、安田生命保険(相)

～ 14年1月24日、将来の経営統合(16年4月を目標とした相互会社合併)に向けた全面提携について基本合意。

オ セゾン生命保険(株)、GEエジソン生命保険(株)

～ 14年2月7日、(株)クレディセゾンとGEエジソン生命保険(株)が生命保険に関する業務の包括的提携について合意。14年4月にセゾン生命保険(株)の全株式をGEエジソン生命保険(株)へ譲渡。14年10月を目処に合併による事業統合を予定。

III 新規参入について

13年7月以降、以下の外国保険会社等に免許を付与した。

免許会社名	免 許 日	免許の種類
ヘルメス・クレジットフェアズイヘルン グス・アクティエンゲゼルシャフト(独)	平成14年3月5日	外国損害保険業免許

IV 外国保険会社等の撤退について

14年2月15日、ローヤル・エクスチェンジ・アッシュュアランス（英）が、アクサ損害保険（株）に対し、その日本における保険契約の全部を包括移転（ローヤル・エクスチェンジ・アッシュュアランスの外国損害保険業免許は失効）し、日本支店における営業を廃止した。